

「上菅田小学校・笹山小学校」 通学区域と学校規模適正化等 検討部会 ニュース

発行日：平成 29 年 10 月 2 日
第 4 回 検 討 部 会
日 時：平成 29 年 9 月 12 日（火）
10 時 30 分から
会 場：上菅田中学校 図書室

◆ 第4回検討部会での決定事項など ◆

- 統合校の学校名案の選定方法は、上菅田小学校と笹山小学校の児童及び両校の通学区域にお住まいの方から公募する「公募方式」とし、公募結果を参考に次回の検討部会で学校名案を決定することとなりました。
- 統合校の通学区域案は、上菅田小学校と笹山小学校の通学区域を合わせた区域とし、現笹山小学校の通学区域のうち、上菅田自治会上地区と美笹台自治会の区域を竹山小学校と鴨居中学校も選択できる特別調整通学区域とすることに決定しました。
- 統合校の通学区域案に基づき、実際に歩いて危険箇所等を確認するため、通学安全点検を実施することとなりました。
- 統合校の統合時期は、平成 32 年 4 月に決定しました。
- 統合後の現上菅田小学校の施設整備については、本部会として、建替えを要望することが決まりました。
また、施設整備の具体的な検討については、本部会とは別に新たな検討の場を設けることとなりました。



1 統合校の学校名案の選定方法について

統合校の学校名案の選定方法は、上菅田小学校と笹山小学校の児童及び両校の通学区域にお住まいの方から公募する「公募方式」と、検討部会の委員のみで検討する「部会検討方式」がありますが、本部会では、「公募方式」に決定しました。

公 募 方 式	<ol style="list-style-type: none"> 1 上菅田小学校と笹山小学校の児童及び両校の通学区域にお住まいの方から、統合校の学校名案を公募する。 2 両校の児童には、学校でアンケート用紙を配付し、学校名案を公募する。 3 両校の通学区域にお住まいの方には、当該ニュースに挟み込む形でアンケート用紙を配付し、郵送や FAX、Eメールにより学校名案を公募する。 4 学校名案の公募結果を参考に、次回の検討部会で学校名案を 1 つに決定する。 ※学校名案は、次の 4 項目のいずれかに該当するものは採用しないこととする。 <ol style="list-style-type: none"> ①学校名として長すぎるもの ②上菅田小学校や笹山小学校の通学区域以外の地名等と誤解されやすいもの ③言いづらい、発言しづらいもの ④人名に多いもの <p>※必ずしも公募数の多い名称が学校名案として採用されるものではありません。</p>
部会検討方式	<ol style="list-style-type: none"> 1 次回の検討部会で議論し、学校名案を 1 つに決定する。

2 統合校の通学区域案について

統合校の通学区域案は、上菅田小学校と笹山小学校の通学区域を合わせた区域とし、現笹山小学校の通学区域のうち、上菅田自治会上地区と美笹台自治会の区域を竹山小学校と鴨居中学校も選択できる特別調整通学区域とすることに決定しました。なお、中学校の通学区域に変更はありません。

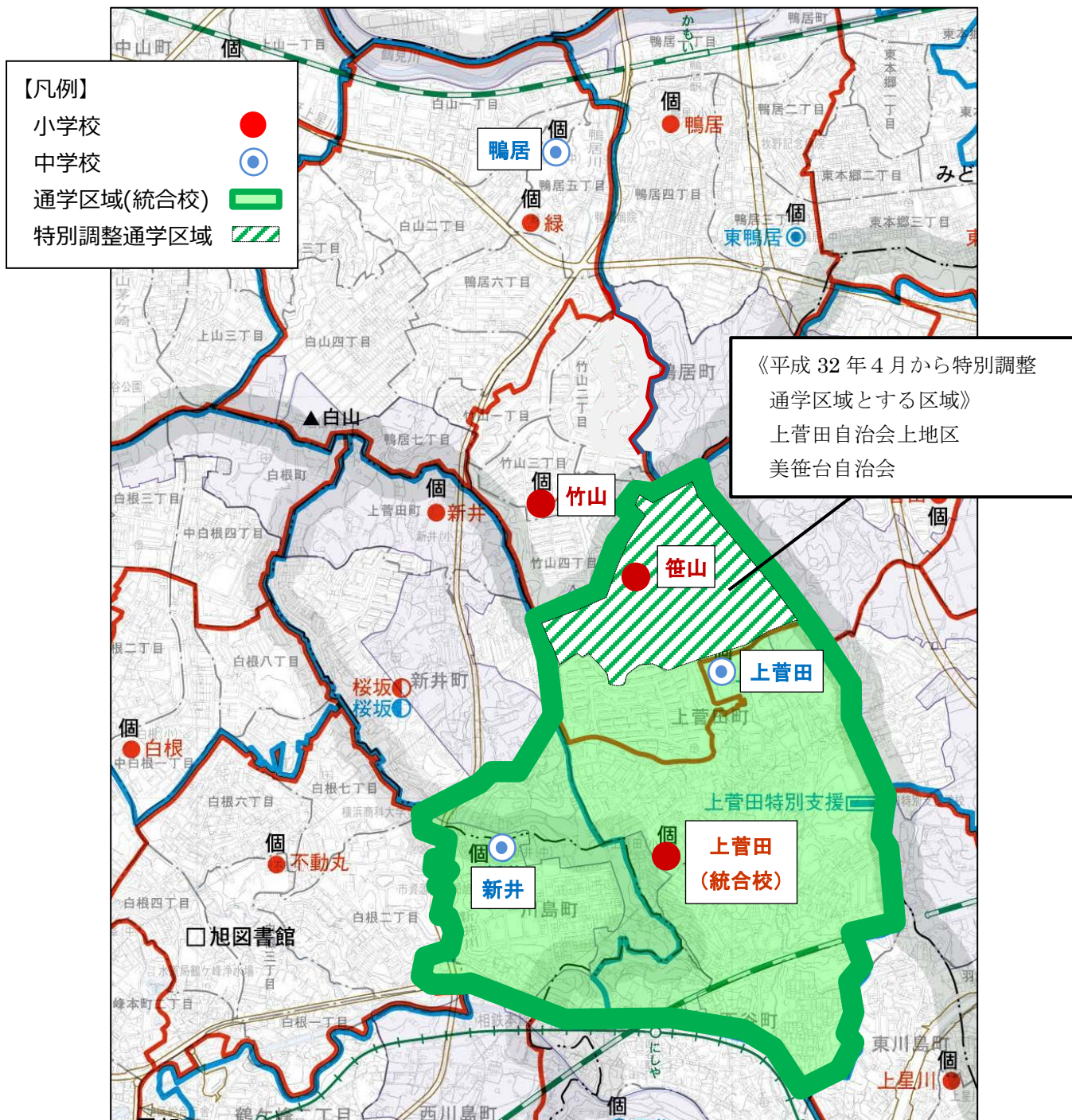
< 統合校の通学区域案の児童 >

平成 32 年 4 月から児童（新小学 1 年生～新小学 6 年生）は原則として統合校へ通学します。

< 特別調整通学区域の児童 >

平成 32 年 4 月から児童（新小学 1 年生・転入生）は統合校と竹山小学校を、生徒（新中学 1 年生・転入生）は上菅田中学校と鴨居中学校のいずれかを選択し、通学します。

【統合校の通学区域案】



3 通学安全点検について

統合校の通学区域案に基づき、実際に歩いて危険箇所等を確認するため、通学安全点検を実施することとなりました。

4 統合校の統合時期について

統合校の使用校舎となる上菅田小学校の保有教室数は 25 教室ですが、上菅田小学校と笹山小学校が統合すると、平成 35 年度までの推計期間中に一般学級数は最大 29 学級となり、4 教室の教室不足が生じる見込みです。

そのため、教室不足への対応として、現上菅田小学校で児童を受け入れる場合は、内部改修工事や仮設校舎工事を実施することとなりました。なお、仮設校舎工事を実施する場合には、グラウンド部分に配慮し対応することとなりました。

統合校の統合時期について、事務局から平成 31 年 4 月または平成 32 年 4 月の 2 案を提案し、説明を行いました。議論の結果、本部会では、統合校の統合時期は平成 32 年 4 月に決定しました。

平成 31 年 4 月に統合	平成 32 年 4 月に統合
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 30 年度の 1 年間に両校の児童や P T A の交流を深め、両校の関係づくりを進めていくことができる。 ○ 両校の校長を中心に教職員が連携しながら、統合校での教育内容や行事などを検討することができる。 △ 工事期間が平成 30 年度の 1 年間となり、内部改修工事など限定的な対応となる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 30～31 年度の 2 年間に両校の児童や P T A の交流を深め、両校の関係づくりを進めていくことができる。 ○ 両校の校長を中心に教職員が連携しながら、統合校での教育内容や行事などを検討することができる。 ○ 工事期間が平成 30 年度から平成 31 年度の 2 年間となり、内部改修工事や仮設校舎工事など幅広く対応を検討することができる。

【参考 1】児童数推計（上菅田小学校と笹山小学校が平成 31 年 4 月に学校統合すると仮定し算出）

		H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
上菅田小学校	児童数	720	769	843	867	878	891	873
	学級数	22	24	25	26	26	26	26
笹山小学校	児童数	84	100	92	90	89	85	85
	学級数	6	6	6	6	6	6	6
統合校	児童数	/		935	957	967	976	958
	学級数	/		28	28	28	29	28

※児童数、学級数は、一般学級の児童数・学級数を記載しています。

【参考 2】現上菅田小学校での工事スケジュール（案）

年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34
内部改修工事		設計 → 工事	●学校統合			
仮設校舎工事		設計 → 工事		●学校統合		

※工事の進め方や内容によっては工事期間が変更となる場合があります。

5 統合後の現上菅田小学校の施設整備について

本部会の意見としては、現上菅田小学校の建替えを要望することが決まりました。

上菅田小学校の校舎の老朽化と施設配置上の課題を解消し、望ましい学校施設の整備を実現するためには、検討期間を設けて施設整備を進めていく必要があります。そのため、統合後の現上菅田小学校の施設整備については、本部会とは別に新たな検討の場を設けることとなりました。

※ 第 4 回部会開催後、市の方針として、現上菅田小学校の建替えが決定しています。

6 主な発言や意見

各委員から、統合校の通学区域案や学校名案の選定方法、統合時期などについて、発言等をいただきました。

（凡例 ☆：各委員の発言 ⇒：事務局の説明）

【統合校の学校名案の選定方法について】

☆ 学校名案の選定方法の過去の事例について、詳しく教えてください。

⇒ 過去の事例では、子どもたちが自分の通う学校についてイメージを持ってもらえるように、子どもたちから募集することが非常に多いです。

☆ 多くの人が愛着を持てるような学校にしていきたいと思います。学校の名前は顔なので、多くの意見を集めて検討できたらいいのかなと思います。

【統合校の通学区域案について】

☆ 上菅田自治会上地区は統合校の学区の一番北側の端で、統合校までの通学距離も長いので、竹山小も選択できる特別調整通学区域があっても良いと考えます。

☆ 上菅田自治会上地区が、もし特別調整通学区域の設定に賛同されるのであれば、美笹台自治会も入れていただけると大変ありがたいと思います。

【統合校の統合時期について】

- ☆ 統合時期については、大規模改修を見据えて、施設整備が終わるまで統合を先送りにするという考え方はいけないのでしょうか。
- ⇒ 施設整備にあたっては、地域の皆さんの思いをまとめるのに時間がかかると思います。子どもたちがたくさん友達と学び、成長できるような環境をつくるということから、平成31年度か平成32年度に統合するのが望ましいと考えています。
- ☆ 統合校が28、29学級と、適正規模ではなく大規模校となってしまうことが気になっています。
- ⇒ 統合校の使用校舎となる上菅田小学校の敷地は、小学校の平均敷地面積よりもかなり広く、整備を行い、受入れができる施設をつくれれば、大規模校であっても適正規模校と何ら遜色のない対応ができます。
- ☆ 在校生への影響が一番重要だと思うので、在校生にとって心配のない環境を確保して欲しいです。上菅田小学校の内部改修以外にも、様々な案が考えられるので、平成32年4月の統合に賛成です。
- ☆ 統合時の学級数についても、内部改修工事により児童を受け入れることはできるようですが、工事作業が子どもたちの学習の邪魔にならないよう配慮いただくことを要望したいと思います。
- ☆ 2年間かけて、児童の受入れや教職員の人事等、必要な対応をすすめるためには、平成32年4月に統合するのがいいと思います。
- ☆ 仮設校舎を設置する場合、グラウンドの広さはどうなるのでしょうか。
- ⇒ 上菅田小の施設が狭あいだという声もいただいているので、両校の保護者やお子さんのことを考え、グラウンドが狭あいにならないよう、学校長と調整していきます。
- ☆ 施設整備のところで、増築工事も含めて設計に2年かかるとのことですが、2年間も必要なのでしょうか。
- ⇒ 設計期間には、近隣住民への説明や法令上の規制のクリアなども含まれています。近隣住民や地域の皆さんにご理解いただく期間を考えると、やはり2年間は必要ではないかと思います。
- ☆ 何が起るかわからないので、統合時期は「原則、平成32年4月」としていただきたいです。

【統合後の現上菅田小学校の施設整備について】

- ☆ 学校の建替えは行っていただきたいと思います。
- ☆ 本部会の要望として、現上菅田小学校の施設整備については、建替えを前提とした大規模改修を要望することに決定しますが、施設整備については、新たに別の検討の場を設け、皆様から積極的にご意見をいただきたいと思います。

7 検討部会に寄せられた主な意見・質問

- ・上菅田小と笹山小の2校の通学区域を合わせると通学区域が広すぎると思います。
- ・通学路の安全はどのように確保するのでしょうか。
- ・少人数の笹山小学校の児童が、大人数の上菅田小学校の児童に馴染めるのか不安です。

◆第5回検討部会について

日 時：平成29年10月16日（月）10時30分から 会議は非公開とすることを決定しました。
会 場：上菅田中学校 図書室
検討内容：統合校の学校名案及び通学安全等について

◆傍聴について

◆「上菅田小学校・笹山小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会の経過等について

部会の会議案内や会議録、ニュースについては、ホームページからもご覧になれます。
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakku/shoukibo/20170418122655.html>

◆事務局（お問い合わせ先）

広く皆さまからのご意見やご質問を受け付けております。
ご意見やご質問は、EメールまたはFAXにてお願いいたします。
横浜市教育委員会事務局学校計画課

Eメール：ky-hodogaya2017@city.yokohama.jp

F A X：045-651-1417 T E L：045-671-3253

